



# Cisco HyperFlex ソフトウェア推奨事項およびガイドライン

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [新規環境および既存環境での実装に対する推奨ソフトウェア \(2 ページ\)](#)
- [HyperFlex リリース \(8 ページ\)](#)

## 概要

本章では、Cisco HyperFlex HX シリーズ システムでどの HX データプラットフォーム ソフトウェア リリースが推奨されるかを説明します。本ドキュメントの内容は、新規 および既存の設定・構築の両方を取り扱っています。



- (注) 推奨されるリリースバージョンのパッチリリースは、ドキュメントでの情報提供前にダウンロード可能な場合があります。最新のパッチをダウンロードする前に、[HX データプラットフォーム リリースノート](#)および[Cisco HyperFlex HX Data Platform セキュリティアドバイザリ](#)の「問題」セクションで、最新のリリースでの差分修正から利益を得られる展開シナリオと機能を確認してください。

このガイドで使用される一般的な用語と定義は次のとおりです。

表 1: 一般的な用語と定義

用語	定義
Cisco HX	製品名「Cisco HyperFlex」の短縮形であり、このドキュメント全体で使用されています。
Required	準拠するには、使用する、または従う必要があります。
認定	ほとんどの展開で最適なパフォーマンスを提供する認定オプション。

用語	定義
推奨	ほとんどの展開で最適なパフォーマンスを提供する、テスト済みで認定済みのオプション。

## 新規環境および既存環境での実装に対する推奨ソフトウェア

シスコは、新規および既存の展開に推奨および推奨されるソフトウェアを提供します。ほとんどの展開で最適なパフォーマンスを提供する認定オプションであるソフトウェアリリースの組み合わせもあります。適格なオプションの完全なリストの詳細については、Cisco HXDP ソフトウェア要件のセクションを参照してください。

### UCS サーバーファームウェア バージョンの選択

新しいクラスタをインストールする場合、または既存のクラスタをアップグレードする場合は、正しい UCS サーバーファームウェア バージョンを選択するためのガイドランスについて、次の表を参照してください。

表 2: UCS サーバーファームウェア バージョンの選択

インストール/アップグレード	ガイドライン
新しいクラスタをインストールする場合:	<p>最新の HX 認定 UCS サーバーファームウェア バージョンをインストールします。認定 UCS サーバーファームウェア バージョンの詳細については、次を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">FI/サーバーファームウェア -5.5(x) リリース</a></li> <li>• <a href="#">FI/サーバーファームウェア -5.0(x) リリース</a></li> <li>• <a href="#">FI/サーバーファームウェア -4.5(x) リリース</a></li> </ul>

インストール/アップグレード	ガイドライン
<p>既存のクラスタをアップグレードする場合:</p>	<p>サーバーファームウェアの現在のバージョンが対象のHXDPバージョンで認定され、サポートされていることを確認します。その場合は、ファームウェアバージョンに対する未解決のアドバイザリと Field Notice を確認し、影響を受けるシステムのアドバイザリの該当する指示に従ってください。これらがどれも該当しない場合、サーバーファームウェアバージョンのアップグレードはオプションです。</p> <p>現在のサーバーファームウェアバージョンがサポートされている場合でも、アップグレードする正当な理由がある場合があります。サーバーファームウェアバージョンのアップグレードが必要になる状況の例は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• サーバーファームウェアで発生したバグの修正を取得するには</li> <li>• 返品許可 (RMA) または新しいドライブまたはファームウェアバージョンを必要とするその他のコンポーネントを使用した拡張</li> <li>• 現在のファームウェアバージョンのサポート終了</li> <li>• 新しいサーバーファームウェアバージョンを必要とする新しい世代のサーバーノードでのクラスタ拡張</li> </ul> <p>より大きなクラスタまたは短いアップグレード期間でサーバーファームウェアをアップグレードする場合は、サーバーファームウェアのアップグレードを HXDP アップグレードから分離し、最初にサーバーファームウェアのアップグレードを実行します。</p>

## HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - ESXi

アップグレードを検討している新規および既存のクラスタを持つ ESXi のお客様

アップグレードを検討している新規および既存のクラスタを持つ ESXi のお客様は、次の表で推奨されるソフトウェアバージョンを参照してください。提供されているリンクを使用して、リリースノートおよび関連するソフトウェアのダウンロードページにアクセスできます。



**重要** ソフトウェアダウンロードページの HXDP & ESXi バージョンに対する未解決のアドバイザリと Field Notice を確認し、影響を受けるシステムのアドバイザリの該当する指示に従ってください。

表 3: ESXi で推奨されるソフトウェアバージョン

プラットフォーム	推奨される HX リリース	推奨される VMware ESXi バージョン
アップグレードを考慮中のすべての新しいクラスタと既存のクラスタ。	5.0(2e)	7.0 U3 - ソフトウェアダウンロードページで指定されている、ESXi 7.0 U3 ビルド 21930508 以降のビルド用の Cisco HX カスタマイメージ。



**重要** クラスタを HXDP 5.0(2e) にアップグレードする前に、HX Field Notice を参照し、緩和策を適用してください。HXDP リリース 5.0(2a)、5.0(2b)、5.0(2c)、または 5.0(2d) を実行しているクラスタは、Field Notice の影響を受ける可能性があるため、問題を回避するために 5.0(2e) にアップグレードする前に緩和策を適用する必要があります。



**重要** M5 ノードを備えた HyperFlex クラスタの場合、サーバーファームウェアバージョンが推奨またはサポートされていることを確認してください。UCS サーバファームウェアバージョン 4.1(3b) または 4.1(3c) で M5 ノードを実行している場合は、バージョン 4.1(3d) 以降にアップグレードしてください。詳細については、CSCvx93920 を参照してください。この欠陥は、クラスタ内の M4 ノードには影響しません。



**重要** HyperFlex ストレッチクラスタを HXDP 5.0(2b) にアップグレードしないでください。ソフトウェアアドバイザリを参照してください。 [https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/unified\\_computing/ucs/sw/SA/sw-advisory-hyperflex-release-5-0-2b.html](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/unified_computing/ucs/sw/SA/sw-advisory-hyperflex-release-5-0-2b.html)



(注) エアギャップのお客様（つまり、HXDP SLR または PLR を使用している）の場合、アップグレードまたは新しいクラスタの作成では、HX 5.0 (2b) 以降を使用して永続的なルートシェル機能を利用することを検討する必要があります。



(注) ストレッチクラスタ、All-NVMe、HX アクセラレーションエンジン、HX Edge2 ノードクラスタは、M4 ハードウェアではサポートされていません。



(注) CCO の [ソフトウェアダウンロードページ](#) の星印は、Cisco HyperFlex ESX 標準 HX デプロイメント (SED/非 SED/ストレッチ クラスタ) で推奨されるリリースを示しています。



(注) SED SSD 設定を使用する Cisco HyperFlex クラスタには、最新推奨リリースへのアップグレードが必要です。問題と問題の影響を受けやすい設定を特定するための手順の詳細については、Field Notice [FN70234](#) を参照してください。



(注) HyperFlex OVA ベースのインストーラは、HX Edge M6 をサポートしていません。ライフサイクル管理に Intersight を使用します。HX 非エッジクラスタは、OVA または Intersight インストーラを使用して展開できます。

## HXDP とハイパーバイザのバージョンの選択 - Hyper-V

アップグレードを検討している新規および既存のクラスタを持つ **Hyper-V** のお客様



**重要** Microsoft Hyper-V のサポートは、Cisco HXDP リリース 5.0(x) で終了します。

アップグレードを検討している新規および既存のクラスタを持つ **Hyper-V** のお客様は、次の表で推奨されるソフトウェアバージョンを参照してください。提供されているリンクを使用して、リリースノートおよび関連するソフトウェアのダウンロードページにアクセスできます。

表 4: Microsoft Hyper-V で推奨されるソフトウェアバージョン

プラットフォーム	推奨される HX リリース	推奨される Hyper-V バージョン
アップグレードを考慮中のすべての新しいクラスタと既存のクラスタ。	5.0(2e)	<p><a href="#">Windows Server 2016 Datacenter Core および Desktop Experience</a></p> <p>(注) Windows Server 2016 Datacenter Core &amp; Desktop Experience では、Windows 2016 ISO イメージは少なくとも Update Build Revision (UBR) 1884 である必要があります。</p> <p><a href="#">Windows Server 2019 Datacenter デスクトップエクスペリエンス</a></p> <p>(注) Windows Server 2019 Desktop Experience では、Windows 2019 ISO イメージは少なくとも Update Build Revision (UBR) 107 である必要があります。</p>



(注) HXDP 5.5(1a) 以降、Microsoft Hyper-V はサポートされていません。



(注) Microsoft Hyper-V でサポートされていない機能は次のとおりです。

- M6 サーバー
- HX Edge
- オール NVMe
- HX アクセラレーション エンジン
- ストレッチ クラスタ
- 自己暗号化ドライブ
- iSCSI サポート
- UEFI セキュアブート モード
- HX-CSI サポート
- vCenter の再登録
- HyperCheck
- HxConnect のスケジュールされたスナップショット
- VIC 1457



(注) Microsoft Hyper-V は M5 ハードウェアでのみサポートされます。



(注) SFP-H25G-CU3M または SFP-H25G-CU5M モジュールを使用して 1455/1457 に接続された 6400 FI には UCS リリース 4.0(4k) およびそれ以降、または 4.1(2a)が必要です。

HW、SW の互換性、および最新の HX リリースとの互換性を必要とする同じ FI でのマルチクラスタ展開の詳細については、以下を参照してください。

- [Microsoft Hyper-V のソフトウェア要件 - 4.5\(x\) リリース](#)
- [Microsoft Hyper-V のソフトウェア要件 - 5.0\(x\) リリース](#)
- [Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細 - 4.5\(x\) リリース](#)
- [Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細 - 5.0\(x\) リリース](#)
- [Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細 - 5.5\(x\) リリース](#)

# HyperFlex リリース

このセクションでは、利用可能な HyperFlex リリース、サポートタイムライン、アップグレードガイドライン、およびサポートされていないリリースに関する情報について説明します。

## 提供中のリリース バージョンの種類

リリースの種類	リリース
現在のロングライフ リリース	4.5(2x)、5.0(2x)
機能リリース (ショートライフ リリース)	5.5(1a)



(注) 機能リリースを使用する場合は、機能リリースで提供されている最新のパッチリリースを常に使用することをお勧めします。

Cisco HyperFlex リリース ポリシーおよびサポート タイムラインの詳細については、次の情報を参照してください。 [https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/hyperconverged\\_systems/HyperFlex\\_HX\\_DataPlatformSoftware/release-guidelines-and-support-timeline/b-release-bulletin-hyperflex.html](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/hyperconverged_systems/HyperFlex_HX_DataPlatformSoftware/release-guidelines-and-support-timeline/b-release-bulletin-hyperflex.html)

依存関係、セキュリティ修正、解決済みの警告の詳細なリストについては、特定のリリースのリリースノートを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/hyperconverged-systems/hyperflex-hx-data-platform-software/products-release-notes-list.html> を参照してください

HX データ プラットフォームの販売終了およびサポート終了のお知らせについては、

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/hyperconverged-infrastructure/hyperflex-hx-series/bulletin-listing.html> を参照してください。

## HXDP のリリース サポート タイムライン

次のサポート タイムラインは、主要なマイルストーン (リリース日、ソフトウェア メンテナンスの終了 (EOSM)、ダウンロードの終了 (EOD)、セキュリティと脆弱性修正の終了 (EoVS) (PSIRT fixes)、サポートの最終日)、定義、および関連する日付を特定するために提供されています。現在サポート終了 (EOL) になっている HX リリースのサポート タイムラインの詳細については、[Cisco HyperFlex HX シリーズ速報](#) を参照してください。



## リリースのリリース サポート タイムライン: 5.5(x)

表 5: 5.5(1x)のリリース サポート タイムライン

マイルストーン	定義	日付
リリース日	ソフトウェアバージョンが最初にダウンロード可能になった日付。	2023 年 8 月 14 日
ソフトウェア メンテナンス終了 (EOSM) のリリース日	シスコのエンジニアリング部門による、ソフトウェアメンテナンスリリースまたはバグ修正の最終日。この日付以降は、シスコのエンジニアリング部門による該当バージョンのソフトウェアの開発、修正、メンテナンス、テストが行われません。	2024 年 8 月 22 日
ダウンロード終了 (EOD) 日	Cisco のダウンロード ページから該当ソフトウェアをダウンロードできる最後の日付。この日付を過ぎると、ダウンロードサイトから該当ソフトウェアをダウンロードできなくなります。	2024 年 8 月 22 日
セキュリティと脆弱性サポート (EoVS) (PSIRT 修正) の提供終了	シスコがセキュリティ脆弱性サポートを提供する最終日。	2024 年 8 月 22 日
サポートの最終日	当該バージョンに対して問い合わせサポートおよび情報サービスを受けられる最終日。この日付を過ぎると、このソフトウェアのすべてのサポートを利用することができなくなり、ソフトウェアは廃止となります。	2024 年 11 月 30 日

## リリースのリリース サポート タイムライン: 5.0 (x)

5.0 (2x) のリリース サポート タイムライン

マイルストーン	定義	日付
リリース日	ソフトウェアバージョンが最初にダウンロード可能になった日付。	2022 年 8 月 23 日

## リリース4.5(2x)までのリリース サポート タイムライン

マイルストーン	定義	日付
ソフトウェア メンテナンス終了 (EOSM) のリリース日	シスコのエンジニアリング部門による、ソフトウェアメンテナンスリリースまたはバグ修正の最終日。この日付以降は、シスコのエンジニアリング部門による該当バージョンのソフトウェアの開発、修正、メンテナンス、テストが行われません。	2024年8月23日
ダウンロード終了 (EOD) 日	Cisco のダウンロード ページから該当ソフトウェアをダウンロードできる最後の日付。この日付を過ぎると、ダウンロードサイトから該当ソフトウェアをダウンロードできなくなります。	2024年11月30日
セキュリティと脆弱性サポート (EoVS) (PSIRT 修正) の提供終了	シスコがセキュリティ脆弱性サポートを提供する最終日。	2024年11月30日
サポートの最終日	当該バージョンに対して問い合わせサポートおよび情報サービスを受けられる最終日。この日付を過ぎると、このソフトウェアのすべてのサポートを利用することができなくなり、ソフトウェアは廃止となります。	2025年2月28日

## リリース4.5(2x)までのリリース サポート タイムライン

表 6: 4.5(2x)のリリース サポート タイムライン

マイルストーン	定義	日付
リリース日	ソフトウェアバージョンが最初にダウンロード可能になった日付。	2021年6月30日

マイルストーン	定義	日付
ソフトウェア メンテナンス終了 (EOSM) のリリース日	シスコのエンジニアリング部門による、ソフトウェアメンテナンスリリースまたはバグ修正の最終日。この日付以降は、シスコのエンジニアリング部門による該当バージョンのソフトウェアの開発、修正、メンテナンス、テストが行われません。	2022 年 12 月 17 日
ダウンロード終了 (EOD) 日	Cisco のダウンロード ページから該当ソフトウェアをダウンロードできる最後の日付。この日付を過ぎると、ダウンロードサイトから該当ソフトウェアをダウンロードできなくなります。	2023 年 9 月 17 日
セキュリティと脆弱性サポート (EoVS) (PSIRT 修正) の提供終了	シスコがセキュリティ脆弱性サポートを提供する最終日。	2023 年 9 月 17 日
サポートの最終日	当該バージョンに対して問い合わせサポートおよび情報サービスを受けられる最終日。この日付を過ぎると、このソフトウェアのすべてのサポートを利用することができなくなり、ソフトウェアは廃止となります。	2023 年 12 月 31 日

## UCS サーバーファームウェアのリリース サポート タイムライン

UCS サーバーファームウェア バージョンのサポートタイムラインの詳細については、[UCS Manager](#)、[ファームウェア/ドライバ](#)、および[ブレード BIOS](#)のリリースノートを参照してください。

## Cisco HyperFlex のアップグレード

このセクションでは、時間のかかるアップグレードや不適切な再起動を最小限に抑える目的で、アップグレードイベントを管理するのに役立つ情報を提供します。

### Cisco HyperFlex をアップグレードする理由

このセクションでは、特定の HyperFlex リリースに更新する主な理由について説明します。

### Cisco HyperFlex リリース 5.5(x) にアップグレードする理由

Cisco HyperFlex リリース 5.5(1x) にアップグレードする主な理由としては、次のものが挙げられます。

- VMware ESXi 8.0 UI サポート
- ストレッチ クラスタ Intersight アービトレータ。監視と管理のオーバーヘッドをホストするための 3 番目のサイトが不要
- ストレッチ クラスタの優先サイトのサポート
- UCS FI 6536 のサポート

### Cisco HyperFlex リリース 5.0 (2x) にアップグレードする理由

Cisco HyperFlex リリース 5.0 (2x) にアップグレードする主な理由としては、次のものが挙げられます：

- Cisco HyperFlex HX245C/225C M6 オール フラッシュ/ハイブリッド サーバー データセンター ノードのサポート
- 15TB NVMe サポート
- HX シェルの「診断」ユーザー
- ストレッチ クラスタのソフトウェア暗号化サポート
- DR レプリケーション ネットワークの MTU 編集のサポート
- ESXi 7.0 U3 のサポート
- HX CSI リリース 1.2 (3a)
- Intel® Optane™ DC パーシステント メモリ (DCPMM) のサポート。

### Cisco HyperFlex リリース 4.5(x) にアップグレードする理由

Cisco HyperFlex リリース 4.5(x) にアップグレードする主な理由としては、次のものが挙げられます。

- HyperFlex Edge 240 フル デプス サーバー
- ハードウェア RAID M.2 ブートドライブ
- ネイティブ iSCSI プロトコルのサポート (ブロックストレージ)
- Intersight を使用した HyperFlex Edge クラスタのバックアップと復元
- HX Connect でのスケジュールされたスナップショット
- セキュア管理者シェル
- UEFI セキュアブート モード

## 推奨リリースより以前のソフトウェアバージョンを使用する環境

可能な限り、前述の Cisco HyperFlex リリースのいずれかにアップグレードすることをお勧めします。アップグレードが不可能な場合は、以前のリリースの [HX データ プラットフォーム リリースノート](#)を確認してください。未解決の問題の影響の判断には [バグ検索ツール](#)を使用することで情報が得られる場合があります。

## サポートされていない Cisco HyperFlex リリース

リリース	初期リリース日	サポート終了日
HXDP 5.0(1x)	2021年11月10日	2023年2月28日
HXDP 4.5(1x)	2021年1月6日	2022年1月31日
HXDP 4.0(2x)	2020年2月11日	2023年2月28日
HXDP 4.0(1x)	2019年4月29日	2020年9月29日
HXDP 3.5(2x)	2019年1月8日	2021年10月31日
HXDP 3.5 (1x)	2018年10月16日	2020年5月15日
HXDP 3.0 (1x)	2018年4月13日	2020年5月15日
HXDP 2.6(1a)、2.6(1b)、 2.6(1e) <sup>1</sup>	2017年9月1日 2017年11月15日 2019年8月6日	2019年6月15日
HXDP 2.0、2.1、2.5	2017年3月13日、2017年4月28日、2017年7月22日	2019年
HXDP 1.7、1.8	2016年11月26日	2019年

<sup>1</sup> HX2.6(1e)は、HX1.8 (1a-1e) アップグレードの経由箇所としてのみサポートされます。一般的な用途ではありません。

## 推奨リリースへのサポートされているアップグレードパス

HX データプラットフォーム ソフトウェアを新しいリリースにアップグレードする場合は、展開の要件に基づいてリリースを選択します。また、最新の HyperFlex ソフトウェアリリース配信モデルを確認して、長期リリースまたは機能リリースのどちらにアップグレードするのが最適かを判断してください。詳細については、『[Cisco HyperFlex ソフトウェア リリース モデル およびソフトウェア サポート タイムライン](#)』を参照してください。

新規および既存の導入に関する一般的な推奨事項については、[Cisco HyperFlex ESXi および Hyper-V の推奨バージョン](#)を説明したセクションを参照してください。

サポートを終了した HX データプラットフォーム ソフトウェア リリースから、Cisco ソフトウェアダウンロードサイトの最新の提案されたリリースにアップグレードする場合、『[サポートされていない Cisco HX リリースの Cisco HyperFlex システムアップグレードガイド](#)』を参照してください。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。